

政策名	<b>第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち</b>
施策名	<b>5 観光・レクリエーションの振興</b>

主担当課	産業創出課
関係課	農林振興課

**1. 施策の現状と課題**

観光・レクリエーションの形態が参加・体験型、家族や小グループによる目的重視型へと変化する中で、観光・レクリエーション地には、こうした変化に柔軟に対応した、リピート客の増加に向けた魅力づくりが求められています。

本市には、平成10年に開館した温泉施設「ふるさと交流館さくらの湯」、皿ヶ嶺連峰県立自然公園に代表される山間部の豊かな森林や水辺空間、民間の温浴施設や劇場を中心に、他に誇りうる多様な観光・交流資源があります。

しかし、長期にわたる景気の低迷や観光地間競争の激化等を背景に、観光客数は伸び悩み傾向にあるほか、多様な観光・交流資源も、市内各地に点在し、有効に活用されているとはいえません。

このため、今後は、近年の自然志向・健康志向の高まりや「いやし」を求めるニーズの増大等も踏まえながら、観光・交流資源の一層の充実・活用やネットワーク化、他産業との連携、PR活動の強化など、「一日ゆっくりと観光・散策ができるまち」を目指した多面的な取り組みを進めていく必要があります。

**2. 施策の基本方針**

交流人口の増加と地域活性化に向け、多様化、高度化する観光・レクリエーションニーズに即した多面的な取り組みを一体的に推進し、観光・交流機能の拡充に努めます。

**3. 施策の内容(主要施策名)**

(1)観光振興体制の確立	観光振興の中核的役割を担う観光協会を育成・支援し、各種活動の活発化を促進します。
(2)観光・レクリエーション施設の充実	①塩ヶ森ふるさと公園や上林森林公園をはじめとする既存の観光・レクリエーション施設の整備及び維持管理を推進し、一層の機能強化に努めます。 ②本市の観光・交流拠点として、温泉施設「ふるさと交流館さくらの湯」の一層の充実及び健全経営に努めるとともに、併設の農産物直売所「さくら市場」における「地産地消」の取り組みを推進します。
(3)市内観光ルートの開発	民間の温浴施設や劇場、スポーツ施設等と連携しつつ、観光ルートの設定を図るとともに、観光案内板の設置や公共交通機関との連携等を推進し、観光客が市内を周遊できる環境づくりを進めます。また、自然や歴史、文化など地域固有の資源や環境を生かしたエコツーリズム事業やエコミュージアム事業を推進します。
(4)農林業と連携した体験交流機能の拡充	グリーン・ツーリズム（農山村における滞在型の余暇活動）や農業・農村体験の取り組みを促進するほか、民間の劇場等と連携し、観劇と農業体験をセットにした修学旅行の受け入れを進めるなど、農林業と連携した体験交流機能の拡充に努めます。
(5)祭り・イベント等の充実	観月祭や白猪（しらい）の滝祭り、どてかぼちゃカーニバル等のイベントの充実を支援するとともに、観光力の向上を目指し、市内の観光魅力の情報発信と観光誘客PRのため、市内の観光資源を活用したフォトコンテスト等を実施します。
(6)広域観光体制の充実とPR活動等の強化	①広域的連携を強化し、広域観光ルートの設定やPR活動の強化など、地域一体となった観光振興施策を推進します。 ②観光ホームページの整備充実をはじめ、様々な媒体を活用した情報提供やPR活動を推進します。 ③市民及び観光関連事業者のもてなしの心の醸成に向けた啓発等に努めるとともに、ボランティアで観光案内等を行う観光サポーター（仮称）の育成を図ります。

**4. 成果指標及び中間目標年度(H22年度)までの達成度**

指標名 [指標の把握方法]	単位		H18年度(初期値)	H22年度(中間値)	H27年度(最終値)	中間目標年度(H22年度)までの達成度
観光入込客数 [年間の観光入込者数]	千人	目標値	1,195	1,230	1,300	観光キャラバンや広域観光連携によるPR活動により、入込客数も増加傾向にあり、目標値を概ね達成しています。
		実績値	1,195	1,219	—	
さくら温泉入館者数 [入館者数統計]	人	目標値	361,151	365,000	400,000	源泉ポンプの故障により、目標値を大幅に下回っています。 リニューアル等による環境整備やサービスの向上充実と、日常の点検整備に努め、突発的な故障等の防止を図ります。
		実績値	361,151	331,669	—	
観光キャラバン回数 [年間の観光キャラバン隊実績]	回	目標値	1	3	5	大阪方面への1回のキャラバンのみであり、目標値を下回っています。 坊っちゃん劇場を核とした観光キャラバンを大都市並びに中四国・九州方面で行い、更なる交流人口の拡大を目指します。
		実績値	1	1	—	

**5. 評価結果(今後の方針、指摘事項)**

総括と今後の取組方針(部・課の方針)	総合計画策定委員会委員長指摘事項	市長指摘事項
<p>①観光振興体制の確立 観光を核とした産業の振興と交流人口拡大による地域活性化を図る観点から、観光協会の強化充実に向けた育成支援を行います。</p> <p>②観光・レクリエーション施設の充実 本市の観光交流拠点の核の一つとなっている温泉施設「ふるさと交流館・さくらの湯」の老朽化に伴うリニューアル化と附属施設である農産物直売所「さくら市場」の充実改善に向けた検討を行います。また、既存の観光・レクリエーション施設の適切な維持管理に努めます。</p> <p>③市内観光ルートの開発 市内の既存の観光拠点を軸に、観光客の市内観光の周遊環境の向上充実のための新たな観光ルートの設定を図るとともに、自然や歴史、文化など地域固有の資源や環境を生かしたエコツーリズム事業やエコミュージアム事業を推進します。</p> <p>④農林業と連携した体験交流機能の充実 濁酒特区等を生かした観光農業（アグリ・ツーリズム）の展開を積極的に推進します。</p> <p>⑤祭り、イベント等の充実 集客力が期待される観月祭や白猪の滝まつり、どてかぼちゃカーニバル等イベントの充実化に向けた支援を行います。また、観光力の向上を目指し、市内の観光魅力の情報発信と観光誘客PRのため、市内の観光資源を活用したコンテストを実施します。</p> <p>⑥広域観光体制の充実とPR活動等の強化 新たな広域観光ルートの設定を図るとともに観光キャラバン等によるPR活動や観光ホームページの改善強化を図ります。</p>	<p>交流人口の拡大に向け、観光キャラバンの実施など、積極的な情報発信に取り組んでください。</p>	<p>観光等へのニーズを素早く的確に捉え、時代に即応したメニューづくりを検討するとともに、東温市の魅力を大いにPRするように努めてください。</p>

6. 施策実現のための事務事業評価結果

番号		事務事業名	事業費(直接+人件費)千円		課名	総合評価		今後の方向性	
課	事務事業		平成22年度	平成23年度		一次	二次	一次	二次
012	2003	観光振興事業	4,523	4,569	産業創出課	B	B	拡大・充実	拡大・充実
012	2008	観光宣伝事業	2,790	1,736	産業創出課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
012	3001	ふるさと交流館運営事業	218,710	206,984	産業創出課	B	B	拡大・充実	方法改善
合計			226,023	213,289					